

平成22年(2010年)4月1日発行

新入生を迎える言葉

幅広い見識とコミュニケーション能力の育み

諸君、晴れてのご入学、まことにおめでとうございます。併せて私は、ここに諸君が100余年の伝統を有する本学園の仲間入りをされたことを、衷心より歓迎致すものであります。



理事長 大川陽康

さて、ひいては低迷する経済発展に大きく寄与させたい、との点にあります。諸君は、キャンパスに足を踏み入れた際に、いち早くお気づきになられたこと存じますが、環境負荷低減のために太陽光発電システム導入。さらには国際標準化機構(ISO)の環境マネジメントを推進するなど、本学は他大学に先駆け、その課題に果敢に取り組んで参りました。従いまして諸君は、まずは

その点をつよく念頭に置いて、今後の学習や研究に邁進していただきたい、とお願いいたします。つきに留意していただきたい事は、各専門分野の学習・研究は当たり前のこととして、ぜひ他学科の人たちとも積極的に交遊し、かつ充実した図書館なども有効活用して、幅広い知識や見識を身につけていただきたい、ということ。と申しますのは、いま述べた環境問題をはじめ、今後必要とされる技術開発やシステムの構築は、社会科学や人文科学など多岐にわたるもの見方が必要不可欠だからであります。

新入生の皆さん、私たち教職員と在学生は、皆さんを心から歓迎します。一緒に素敵な大学生活を送りましょう。

私は、この大学に40年も勤めています。でも、この4月には、皆さんと同じ新人です。教務部長という新たな仕事に取り組みます。少し戸惑いもありますが、皆さんの元気な笑顔が私を元気づけてくれることでしよう。私も笑顔を返します。本学の教育には、いくつものユニークな取組があります。新入生の皆さんに関係が深いのが、「集中・発

展コース」「融合科目」「工房教育」です。集中・発展コース 本学の入学生には、普通高校・専門高校、さまざまな学習履歴の異なる方がいます。その皆さんが、戸惑いなく工学の道を進めるように工夫したのが、「集中・発展コース」です。普通高校などで学んだ広範な知識は、世界を見つめる大きな力となります。専門高校で工学を学んだ皆さんには、専門の感性が輝いています。それぞれの個性を生かして、学び始めましょう。

の夢があるでしょう。それを起点に、数学・物理・英語を学ぶのが融合科目です。高校の復習ではありません。難しい数式も物理現象も、工学のために、ものを考えるために、なぜ必要かをきちんと踏まえて学びます。「将来役に立つから覚えておくように」という雑なことは言いません。英語も同じです。世界の生産拠点で、技術をもってプロジェクトリーダーを務めることができる人になって欲しいとの願いをこめて、楽しく学びます。

工房教育 大きな目標に向

か、長い時間をかけてものづくりに取り組むのが工房教育です。好きな者同士が集まるクラブ活動のような楽しさもあります。新入生には、全学科共通の「ものづくり広場」と「物理体感工房」があり、学科ごとの工房も用意されています。積極的なチャレンジを待っています。

さて、私は歴史的な建築の保存修復や復原に長年取り組んできました。そこで、さまざまな人の輪ができました。小林章男さんは、鬼師・選定保存技術保持者。屋根の鬼瓦を作る人間国宝

福岡城の大手門では、小林さんに鯨を作って頂きました。まだ乾いていない粘土の鯨を挟んで、「尾鰭はもう少し威勢よくしよう」と小林さんと話ながら過ごした時間は、とても魅力的で素敵な時間でした。皆さんにもそんな時間を過ごして欲しいと願っています。それを支えるのは、柔らかな専門力が育む人の輪です。

私が復原設計を担当した

神田の専門職大学院は、技術をテコに成長を希求する中堅・中小企業のための大学院である。新年度から、そのような企業をもつた方々のキャリアアップのための大学院である。そしてなにより、日本工業大学の在学学生・修了生の皆さまのための大学院でありたいと願っている。

福岡城の大手門では、小林さんに鯨を作って頂きました。まだ乾いていない粘土の鯨を挟んで、「尾鰭はもう少し威勢よくしよう」と小林さんと話ながら過ごした時間は、とても魅力的で素敵な時間でした。皆さんにもそんな時間を過ごして欲しいと願っています。それを支えるのは、柔らかな専門力が育む人の輪です。

福岡城の大手門では、小林さんに鯨を作って頂きました。まだ乾いていない粘土の鯨を挟んで、「尾鰭はもう少し威勢よくしよう」と小林さんと話ながら過ごした時間は、とても魅力的で素敵な時間でした。皆さんにもそんな時間を過ごして欲しいと願っています。それを支えるのは、柔らかな専門力が育む人の輪です。

キャンパスをとことん楽しみ、使いこなそう

新入生諸君、日本工業大学に入学おめでとう。これから4年間、思う存分さまざまなことにチャレンジして、青春を謳歌して欲しい。大学時代というのは社会に出るための準備ともいえるし、その前に残された最後の時間でもある。諸君の旺盛な多岐にわたる好奇心に、「ものづくしの」この切り口からとことん考えたいと考えているのが



学長 柳澤 章

私たちが日本工業大学だ。キャンパスを歩けば、諸君のものづくりスピリットを刺激する場所に遭遇することだろう。まずは工業技術博物館。先日、あるテレビ番組で学博物館第1位に輝いたのをご存知かもしれない。日本の工業の歩みの中で活躍した歴史的価値のある展示品を工作機械だけでも250点以上揃えているという

な絶妙ともいえる回転運動、ピストン運動が行われていくうちに製品ができあがっていくのだ。本学のこだわりはそれにとどまらず、実物の蒸気機関車まで動態保存してしまっている。蒸気機関車とは、一言で言えばお湯を沸かして鉄の塊を走らせるメカニズムだ。どうやってそうなるのか。自分の目で確かめて、ふむふむとうなずいていただきたい。機械システ

ム学群の諸君は言うに及ばず、電子情報メディア学群建築デザイン学群の諸君も、だれもが楽しく学べるだろう。自分で、あるいは仲間たちと何かを作り上げたい。そんな思いを胸に秘めている諸君も少なくないだろう。スチューデントラボに案内しよう。例えば普通科高校を卒業した諸君は、木工の経験はあっても、金属を削ったことはないのか。工業科出身でも電気電子情報、建築系であれば未経験かもしれない。一度は試してみよう。ピギナーにはきちんとプロフェッションナルがサポートしてくれるので安心して挑戦していただきたい。

もし音楽好きで練習場所に困っているのなら、スチューデントセンターの地下のスタジオを教えよう。心おきなく音を出せる場所だ。さて、本学の真髄は何かといえば、現場に強く、実現する能力を磨く実工学のエンジニア・スピリットを身につけることだ。よき師と出会い、これぞという探究したいテーマと出会っていただきたい。そして学内の設備・装置を存分に使いこなして、4年間を充実させていただきたい。われわれ教職員はそのための支援を惜しまない。諸君の健康を祈る。

1月23日、学士会館で専門職大学院主催のシンポジウムを開催した。タイトルは『中小企業のイノベーションが日本を救う!』。200名を超える参加者を得られたのは、この少々大仰なタイトルに、賛同者が多かったからと思われる。日本経済を支える企業社会は大きく、大企業、中堅、中小企業、そしてベンチャーの3つに分類できる。そのうち大企業は過度に官僚化が進み、イノベーションを興すことが難しい状況にある。ベンチャーは米国の

続き中国の伸長が著しいが、とプロジェクト・マネジメントのスキルを身につける必要がある。足りない知識は産学連携で補えばよい。産学連携も失敗が目立つが、密かに大きな成果をあげている企業が現れだしている。市場はいくらでもある。日本の前庭、アジア市場だ。21世紀は知識の時代だ、ITの時代だと喧伝されるが、これからは物産するアジアの民はモノを欲しがっている。日本の中小企業がお得意とするところだ。神田の専門職大学院は、技術をテコに成長を希求する中堅・中小企業のための大学院である。新年度から、そのような企業をもつた方々のキャリアアップのための大学院である。そしてなにより、日本工業大学の在学学生・修了生の皆さまのための大学院でありたいと願っている。

柔らかな専門力を鍛える 人の輪を



教務部長 波多野 純

福岡城の大手門では、小林さんに鯨を作って頂きました。まだ乾いていない粘土の鯨を挟んで、「尾鰭はもう少し威勢よくしよう」と小林さんと話ながら過ごした時間は、とても魅力的で素敵な時間でした。皆さんにもそんな時間を過ごして欲しいと願っています。それを支えるのは、柔らかな専門力が育む人の輪です。

中小企業のイノベーションを促す 技術経営(MOT)

研究科長・教授 佐久間陽一郎

研究科長・教授 佐久間陽一郎

# 入学おめでとう

学生支援部長からのメッセージ

## 有意義な学生生活の

### 第二步を踏み出すために

学生支援部長 梅崎 栄作



るのでしようか。それは、次世代の担い手である皆さんの生きる基盤づくりに、すなわち人間形成に役立つからです。

新入生の皆さん、入学おめでとう。新しい生命の躍動を感じられる季節の中で、皆さんを本学のLCセンター（図書館）に多く揃えられることを嬉しく思います。

皆さんは、これから過ごす大学生活に期待と不安を持って本学に入学して来たことと思います。不安については、私たち教職員ができるだけ早く解消できるように支援しますので、安心してください。

さて、これからの4年間の大学生活は、皆さんの人生の中で最も大事な時期です。この時期をいかに過ごすかが皆さんの将来に大きな影響を与えます。

この時点においては、まず、大学は高校までのように受身の姿勢ではなく、主体的に学ぶところに特徴があることを理解してください。

また、大学には、出身地や考え方が異なる多くの人が集まっています。これら少ないのが大学です。つぎに、専門の勉強と共に、社会や人間について理解することも大切であることを認識してください。

皆さんは学科を決めて入学して来ましたが、その学科の専門を学ぶことには、何の迷いもないでしょう。

## 学科主任からの励ましの言葉

### 4年後の自分を考えよう

機械工学科主任教授 有賀 幸則



や目標を持つことが大事です。それを達成するために何をやらなければならないのかを自分で考え、また友達や先輩に相談し、先生

入学おめでとう。皆さんは4年後にどんなことができるようになるか、どんなことができるようになるか、将来的に何をしたいか考えていますか。

勉強をすればするほど、希望や目標が遠のいて行ってしまうような気がするかもしれません。そんな気がすれば少しは進歩した証拠です。さあ挑戦してみてください。

### 自由な時間を活かして！

創造システム工学科主任教授 渡部 修一



高校での学修は、受身的に学ぶことが多かったと思いますが、大学での学修態度は、それではいけません。主体的に学ぶ意識を強く持つていただきたいと考えます。

大学では、高校時代までと違って、君たちには大きな自由が与えられます。たぶん人生でもっとも自由な時間を謳歌できる時だと思えます。社会的にも大人の仲間入りとなるので、いろいろな制限も無くなります。

しかし、自由には必ず大きな責任が伴うことを、決して忘れないでほしい。そして、その自由な時間を、どのように活かすかも、君たちの責務となるのだという

### 新しい出会いを大切に

情報工学科主任教授 片山 茂友



していけば、新しい知識への興味や専門知識を深める機会になるかも知れません。次に、様々な本や機器との出会いがあります。一冊の本が貴方の生き方を変え

新入生の皆さん、入学おめでとう。皆さんは今日から学生という人生の新しいステージに入りました。ど

先生との出会いがあります。入学式を初めとする様々な集いや授業では、偶然隣に座った人が貴方の将来に大きな影響を与える人になるかも知れません。また、授業

### 大学生活の準備は万全ですか

生活環境デザイン学科主任教授 黒津 高行



い。大学の面白いところは、自分の潜在能力を見つめるための時間や環境があることです。様々なことに挑戦して、自分探しをして下さい。

ご入学おめでとう。皆さんは、関東地区出身の学生を中心に全国から宮代キャンパスに集まって下さいました。皆さんと最初の授業

皆さんは4年間という貴重な時間を手に入れましたが、これをどのように使いますか。もちろん専門知識の習得に努めるわけですが、

### マネジメント力を養おう

ものづくり環境学科主任教授 佐藤 茂夫



いて絶えず考え、敏感に反応する心構えをもって下さい。みなさんが卒業する頃は、今よりももっと環境産業の分野は拡大発展していることは確実です。

ご入学おめでとう。今、新たな決意をされて大学での勉強に真剣に取り組もうと考えていることでしょうか。大学で勉強するということとは、授業だけでなく、社会的にも積極的に動くことが大事です。

環境学科のみなさんは、「環境」という人類全体のテーマと深く関わりをもつものを中心として勉強していきます。この力を育て合う環境を創りましょう。

### この時を大切に

電気電子工学科主任教授 高橋 明遠



になります。このTの字をパランスよく大きくすることが重要です。電気の世界には興味深い現象がたくさんあります。講義や実験などを通して、新たな発見に感心した

皆さん、入学おめでとう。皆さんを歓迎します。皆さんは電気電子工学の世界に、一歩踏み出したところです。技術の世界では、その分野の素養を深く広く身に付けるとともに専門領域

4年後の自分に会うのを楽しみに、これからの貴重な時間を大切に過ごして下さい。また、建築に関して、教員、有意義に過ごして下さい。

### 充実した学生生活を

建築学科主任教授 白石 一郎



先輩、友人と話し合うことも有効でしょう。高学年になるにつれて、興味ある分野が変化して構成はみん、それはみなさんの成長の証左です。

入学おめでとう。建築学科は皆さんを心から歓迎します。みなさんは、いま大学生あるか考えながら、価値をスタートする期待や不安で、卒業後の将来像などを思い描く余裕はないかもしれせん。しかし、でき

また、建築に関して、教員、有意義に過ごして下さい。また、建築に関して、教員、有意義に過ごして下さい。

### 希望ある未来を切り拓こう

共通教育系主任教授 寺尾 裕



ツチがどこにあるのかを探し、とことんやってみることも将来の展望が拓けてくると思っています。努力をした経験は社会に出てきつと自分の力になっていきます。

日本経済が厳しい状況の中、本学に入学された皆さんには、これからの日本を参加し、良い仲間をたくさん作り、様々な考え方を知らせる世の中にしていこうと、分を客観的に見つめ、自己

まず、積極的に行動し、目的や目標を明確にすることが大切です。不屈の精神で切り拓いていきましょう。

# 紙上オリエンテーション 日本工業大学での学び方 自ら考え、行動し、充実した大学生を送ろう！

新入生の皆さんは、大学生活という新しい体験に向かって、期待と不安を抱いていることでしょうか。そこで、本学教員の意見やアドバイスをもち、皆さんがスムーズに快適な大学生活を送るための心構えや行動のしかたについてまとめてみました。

## まずは、オリエンテーションをよく聞こう

入学当初は、いろいろなオリエンテーションが行われます(下表参照)。オリエンテーションとは、皆さんが、新しい大学生活という環境に適應できるように方向づけを行うということです。

その内容はさまざまですが、全て、皆さんに必要な情報だと考えてください。例えば、4月1日は教務部や学修支援センターなど、4月3日には各専門学科や学生支援部からの説明があります。

## 読書しない者は人にあらず！

教育研究推進室長 成田 健一



この4月から教育研究推進室長を務めることになった、建築学科の成田です。「教育研究推進室」というのは、本学独自の組織で、FD(ファカルティ・デベロップメント)を推進するところです。新入生の皆さんにはFDという言葉も、初めて聞くものだと思います。簡単に言うと、「教員の教授内容、教授方法の改善、

向上」への取り組みのことです。本学で学ぶ皆さんに、よりの確で・満足してもらえようという思いで、教材の開発や教え方の工夫をエピソードで行って行くというものです。具体的には、学生による授業評価や教員相互の授業参観などを継続的に実施しています。新入生の皆さんにも、このような取り組みに是非とも積極的に参加してもらいたいと思います。さて、私が新入生の皆さんに望むことは、ただ一つ、本をたくさん読んでほしいということです。大学で身に付けるべき能力として「社会人力」という言葉がよく使われます。その中でも、自分の意見をわかりやすく伝える力・発信力を身に付けるためには、本を読むことが最も近道です。人間は、言葉を使って考える動物です。従って、言葉を知らない者は、深く考えることもできません。4年間で100冊(2週間1冊)を目標に今日からすぐに始めてください。

履修申告の方法について  
大学では自分で勉強したい科目を選び、履修申告して受講します。どのような科目を履修すべきかは、フレッシュマンゼミで指導が行われます。とにかく分からないことは、フレッシュマンゼミの担任の先生に相談してみてください。皆さん一人ひとりの興味や進路希望などに合わせて親切に相談のつてくれます。

## 「学修支援センター」を活用しよう

さらに、学科のオリエンテーションとは別に、学修支援センターでも相談を受け付けています。相談コーナーは、月曜から金曜の午前11時から午後6時までの時間帯に利用することができ、授業内容の疑問から、大学生活の悩みまで、専門の先生(チューター)が相談のつてくれます。

大学生生活は人間関係づくりの場  
さて、大学生活という新しい環境を楽しく過ごすためには、人間関係づくりがとても大切です。新しい友達をつくり、先輩とも親しくなるには、クラブ活動や学生自治会等に積極的に参加したり、興味のある研究室を訪ねてみるのも良い方法だと思えます。

## 研究室へも積極的に訪問

研究室に正式に所属するのは3年生から4年生になってからですが、興味があれば1年次でもどろん訪問して先輩と接したり、研究にも参加しましょう。皆さんの先輩には1年次から研究に取り組み、立派な成果をあげた人も沢山います。また、オープンキャンパスの時に興味をもった研究室があれば、訪問してみたいかがでしょうか。友人や先輩に相談するのもよいのですが、最終的には自分の判断で選ぶのが最良でしょう。

## 新入生の入学当初のスケジュール(2010年度)

4月	実施内容	説明	備考
1	木 ・学生証の交付 ・健康診断 ・オリエンテーション	・教務部、学修支援センター、英語教育センターのオリエンテーション ・女子学生オリエンテーション(学生支援部)	・健康診断は学校保健法で受診が義務付けられています
2	金 ・入学式 ・編入生、外国人留学生のオリエンテーション		
3	土 ・オリエンテーション ・ロッカー配布の手続き	・各専門学科、学生支援部のオリエンテーション	・ロッカー配布の手続きで、建築学科、生活環境デザイン学科は別途指示があります
4	日		
5	月 ・新入生に対する調査(サーベイ)		
6	火 ・学生自治会オリエンテーション		
7	水 ・授業開始	・フレッシュマンゼミ開始	・フレッシュマンゼミでは、各学科ごとに20人前後の少人数クラスに分かれ、履修の仕方、研究室の紹介などを行います ・履修申告は4月下旬までの予定。申告にあたり、それぞれの学生に担任の先生が面接し、希望の進路や興味を聞き、アドバイスをいたします ・履修申告はパソコン、携帯電話を利用したインターネット上で行います。大学玄関ロビーにパソコンを設置するので、そこで登録することもできます

## 学科(事務室)と関連施設の配置



**学修支援センター**  
准教授 田中 佳子

★ご入学おめでとう★将来の夢に向かって自分設計をしませんか？学修支援センターは大学生活を充実するために皆さんのお手伝いをします。友達作り、単位獲得対策、自炊テクニック上達から趣味を極めるまで。自分の可能性を広げるとき、ちょっとくじけたとき、いつでも立ち寄ってください。

**学生支援課**  
主任 鈴木 良裕

学生支援課はロッカーや拾得物の扱い、構内乗り入れ自転車の登録、学生証の再交付、学割証の発行等の他に、奨学金、クラブ活動等学生生活に関するあらゆる事を扱っています。困ったことや、分からない事があったら、学生支援課員に気軽にお声掛けください。

**教務課**  
課長 栗本 収

教務課では、学生諸君が授業を受けるための履修登録や成績に関するサポートを行っています。これらの手続きは大変重要ですので、特に注意を払うよう普段から心がけてください。また、各種証明書の発行等も行っています。積極的に教務課を活用してください。

## 窓口紹介

新入生の皆さんは、これから始まる大学生活に大きな期待を膨らませていることでしょうか。しかし一方で、大きな不安も感じているのではないのでしょうか。新しい環境の中で色々と疑問に思うこと、不安を感じる事があれば、ここで紹介している窓口を訪ねてみてください。それぞれの分野の専門スタッフが丁寧に対応してくれることでしょう。

**NITクリエイト**  
業務部部长 佐藤 誠

NITクリエイトは、できるだけ価値のかつ質の高いサービスを学生の皆様に提供していくことを目的としています。業務は広く、学生食堂、文具・書籍販売、コンビニ、カフェテリア、アパート斡旋、保険代理店、学内清掃、警備等の各部門があります。是非ご利用ください。

**LCセンター**  
センター長 椋田 實

新入生諸君、LCセンターとは図書館と映画や資格教材が視聴できる映像メディア、ネットワークが自由に使えるパソコンを融合した施設です。さらに休憩や食事ができるカフェを併設しています。大学での研究・学習活動と学生同士の交流の場として開設。ぜひ、みなさんも見学においでください。

**スチューデントラボ**  
所長 宮澤 肇

スチューデントラボは、全学科・全学年の諸君が夜8時まで利用できる「ものづくりの殿堂」。機械・電気・木工等様々な加工のための機械や道具を取り揃え、個人での利用、グループでの利用を待っています。常時専門スタッフによる個人指導も受けられるので、初心者も安心して利用できます。

**健康管理センター**  
センター長 城戸 卓男

健康管理センターは、常時健康相談や運動実践の指導、及びケガをした時の応急処置・看護を行っています。毎週金曜日は校医による健康相談も実施しています。体調がすぐれない時などは、どうぞ気軽においでください。また、定期健康診断を受診した学生には健康診断証明書を発行いたします。

**学生相談室**  
相談員 川合 耕一郎

学生生活の中で生じてきた悩みや課題はつらくて孤独なものです。自分自身を見直し、成長させてくれる大事なきっかけでもあります。相談員と話し合いながら、感情や考えを言葉にして整理していくことで、問題解決や発展の糸口を見つけることができます。お気軽に相談室の扉を叩いてください。

**就職支援課**  
課長 吉見 健二

学生諸君が卒業後希望する職業に就けるかどうかは人生を左右する重要な問題です。就職支援課では、1年生から「充実した大学生活を送るためにどうすればいいのか、将来どんな職業を望むのか」等について相談したい時は就職支援課員に気軽に声を掛けてください。

**用度・管財課**  
課長 倉島 清隆

用度・管財課の業務は、授業や実験等で使用する物品の調達と、建物・設備等の固定資産の管理を行っています。調達に当たっては学費等の浄財が財源であることを常に心がけています。皆様の見えにくいところで教育研究活動が円滑に進むようにサポートする縁の下の力持ちとなる業務を行っています。

**経理課**  
主任 磯 雄二

経理課では、主に学費に関する事、またセミナーハウスの利用料、追試験料、各種費用等の現金出納に係る業務を行っています。学費についてのご相談、両替等、お気軽に窓口にお越しください。窓口は午前9時から午後4時まで(昼休みを除く)、笑顔の職員がお待ちしております。

**総務課**  
課長 林 祐司

新入生諸君、ご入学おめでとう。諸君のご活躍を祈念いたします。さて、総務課では、主として①学友会館に関する事、②後援会に関する事、③施設の時間外の使用に関する事を担当しますが、それ以外の諸々の事項にも対応いたします。お気軽にお立ち寄りください。

**英語教育センター**  
准教授 田中 隆治

本センターの目標はコミュニケーション能力を開発し異文化理解を促し世界に通用する技術者に必要な英語力を養成することです。常駐する外国人講師との実践英会話、海外研修、独自開発プログラムなど、異文化・多文化環境に立ち向かう意識と能力を養う多様なプログラムを用意しています。

# 日本工業大学学業奨励奨学金 受給者(新2年生・3年生・4年生)

平成22年度の日本工業大学学業奨励奨学金が決定した。本奨学金は、平成17年度入学生から適用されているもので、年間を通じて学業成績・人物ともに優秀な学生に交付される。5年目となる本年度は、新2・3・4年生、計103名が採用された。採用者は、以下の通りである。

また、本奨学生は、エクセレント・ステューデント(ES)とリマーカーブル・ステューデント(RS)に区分され、学科および学年ごとに選考される。ESには50万円、RSには20万円の奨学金が交付され、学費に充当される。

## エクセレント スチューデント 2010年3月9日

学年	2年生		学年	3年生		学年	4年生	
	氏名(出身校)	氏名(出身校)		氏名(出身校)	氏名(出身校)			
機械工学科	清水翔太(前橋工業)	野瀬俊宏(日本工業大学駒場)	機械工学科	石川慶多(東京農大三)	川原裕之(日本工業大学駒場)	電気電子工学科	石上一茂(柏の葉)	水柿裕一(下館工業)
	加古賢一郎(桶川)	山崎翔平(浜松城北工業)		野瀬俊宏(日本工業大学駒場)	森 潤輝(下館工業)		石上一茂(柏の葉)	水柿裕一(下館工業)
ものづくり環境学科	加古賢一郎(桶川)	山崎翔平(浜松城北工業)	電気電子工学科	石上一茂(柏の葉)	水柿裕一(下館工業)	建築学科	辻 智正(熊谷工業)	本田 京(秋田工業)
	山崎翔平(浜松城北工業)	田村康晃(津田沼)		石上一茂(柏の葉)	水柿裕一(下館工業)		辻 智正(熊谷工業)	本田 京(秋田工業)
創造システム工学科	山崎翔平(浜松城北工業)	田村康晃(津田沼)	システム工学科	小林裕太(つばさ総合)	廣戸海渡(出雲工業)	情報工学科	大久保幸広(秩父農工科学)	古山隆彦(鹿沼商工)
	田村康晃(津田沼)	関口卓嗣(足利工業)		小林裕太(つばさ総合)	廣戸海渡(出雲工業)		大久保幸広(秩父農工科学)	古山隆彦(鹿沼商工)
電気電子工学科	関口卓嗣(足利工業)	冷水祐輝(春日部工業)	情報工学科	宮野広史(久喜工業)	坂本龍一(久喜北陽)	生活環境デザイン学科	菅原丈志(盛岡市立)	西川博美(安曇川)
	冷水祐輝(春日部工業)	星野翔太(越谷総合技術)		宮野広史(久喜工業)	坂本龍一(久喜北陽)		菅原丈志(盛岡市立)	西川博美(安曇川)
情報工学科	星野翔太(越谷総合技術)	菅野竜也(熊谷西)	生活環境デザイン学科	高床梨菜(新井)			高床梨菜(新井)	
	菅野竜也(熊谷西)	菅原丈志(盛岡市立)						

## リマーカーブル スチューデント 2010年3月9日

学年	2年生		学年	3年生		学年	4年生	
	氏名(出身校)	氏名(出身校)		氏名(出身校)	氏名(出身校)			
機械工学科	田中 聡(春日部共栄)	松浦 豊(八戸工業)	機械工学科	田中洋匡(上田千曲)	土橋賢人(甲府工業)	電気電子工学科	清水翔一(日本工業大学駒場)	小田桐諒(春日部工業)
	松浦 豊(八戸工業)	斎藤幸輔(前橋工業)		田中洋匡(上田千曲)	土橋賢人(甲府工業)		清水翔一(日本工業大学駒場)	小田桐諒(春日部工業)
ものづくり環境学科	斎藤幸輔(前橋工業)	町田成紀(日本工業大学駒場)	電気電子工学科	于 晓翠(福建省福州外国语学校)	土屋直弘(武南)	建築学科	森 昌文(大宮開成)	大島 功(下館工業)
	町田成紀(日本工業大学駒場)	渡辺莊弥(郡山北工業)		于 晓翠(福建省福州外国语学校)	土屋直弘(武南)		森 昌文(大宮開成)	大島 功(下館工業)
創造システム工学科	渡辺莊弥(郡山北工業)	前澤雅隆(上田千曲)	システム工学科	古川 亮(つくば工科)	池田齊央(東洋大牛久)	情報工学科	小澤高廣(京業工業)	柴田 剛(伊勢崎東)
	前澤雅隆(上田千曲)	古橋吉祥(春日部共栄)		古川 亮(つくば工科)	池田齊央(東洋大牛久)		小澤高廣(京業工業)	柴田 剛(伊勢崎東)
電気電子工学科	古橋吉祥(春日部共栄)	森 正太(鷺宮)	情報工学科	池田齊央(東洋大牛久)	今村洸二(伊勢崎工業)	生活環境デザイン学科	宮島靖浩(児玉白楊)	澤田成昭(狭山工業)
	森 正太(鷺宮)	高山勇太(日本工業大学駒場)		池田齊央(東洋大牛久)	今村洸二(伊勢崎工業)		宮島靖浩(児玉白楊)	澤田成昭(狭山工業)
情報工学科	高山勇太(日本工業大学駒場)	小林俊毅(前橋工業)	生活環境デザイン学科	松本高志(上田千曲)	石原義浩(足利南)		高橋智也(伊奈学園総合)	石原義浩(足利南)
	小林俊毅(前橋工業)	棚澤卓史(進修館)		松本高志(上田千曲)	石原義浩(足利南)	高橋智也(伊奈学園総合)	石原義浩(足利南)	高橋智也(伊奈学園総合)
建築学科	棚澤卓史(進修館)	後藤祐太郎(神辺旭)	情報工学科	小原早織(浦和東)	寒河江陽平(山形工業)	生活環境デザイン学科	一ノ瀬貴文(日本工業大学駒場)	宮島靖浩(児玉白楊)
	後藤祐太郎(神辺旭)	森田和也(総和工業)		小原早織(浦和東)	寒河江陽平(山形工業)		一ノ瀬貴文(日本工業大学駒場)	宮島靖浩(児玉白楊)
生活環境デザイン学科	森田和也(総和工業)	佐藤大輔(那須清峰)						
	佐藤大輔(那須清峰)	須田正英(川越西)						

### 人事異動

【任用】(4月1日付)  
 ◆清水弘教授(大学院技術経営研究科)昭和36年3月29日生まれ。昭和59年3月京都大学工学部合成化学科卒業。前日本工業大学大学院技術経営研究科客員教授。  
 ◆小山美教授(教職教育センター)昭和24年9月28日生まれ。昭和53年3月中央大学大学院修士課程理工学研究科精密工学専攻修了。前東京都立蔵前工業高等学校校長。  
 ◆中野道王准教授(機械工学科)昭和38年8月14日生まれ。平成2年3月豊橋技術科学大学大学院工学研究科工学博士(工学)取得。前豊田大学工学部専攻修士課程修了。博士(工学)。前(株)豊田中央研究所主任研究員。  
 ◆細田彰一准教授(機械工学科)昭和42年1月17日生まれ。平成4年3月千葉大学大学院工学研究科修士課程工学博士(工学)取得。前(株)日立製作所主任研究員。  
 ◆吉村英孝助教(建築工学科)昭和50年6月26日生まれ。平

前昭和女子大学生活科学部生活環境学専攻講師。  
 ◆楠橋康博准教授(創造システム工学科)昭和37年12月30日生まれ。平成4年3月早稲田大学大学院理工学研究科機械工学専攻博士(工学)取得。前早稲田大学WABO・H OUSE研究所客員准教授。◆平栗健史准教授(電気電子工学科)昭和47年8月18日生まれ。平成11年3月筑波大学大学院理工学研究科修士課程理工学専攻修了。博士(情報学)。前日本電信電話(N T T)アクセスサービスシステム研究所勤務。  
 ◆佐々木誠准教授(建築工学科)昭和42年4月30日生まれ。平成14年3月東京大学大学院工学系研究科建築学専攻博士(工学)取得。前(株)日立製作所主任研究員。◆徐華准教授(建築工学科)昭和48年7月22日生まれ。平成14年3月東京大学大学院工学系研究科建築学専攻博士(工学)取得。前(株)日立製作所主任研究員。◆須賀ひとみ事務職員(財務部)昭和47年10月17日生まれ。平成5年3月大原簿記専門学校卒業。

【昇任】(4月1日付)  
 ◆八木田浩史准教授(ものづくり環境学)に昇任  
 ◆中里裕一准教授(創造システム工学科)に昇任  
 ◆青柳健准教授(電気電子工学科)に昇任  
 ◆飯塚完司講師(創造システム工学科)に昇任

【昇任】(4月1日付)  
 ◆波多野純教授(教育研究推進室)に昇任  
 ◆波多野純教授(教育研究推進室)に昇任  
 ◆波多野純教授(教育研究推進室)に昇任

【昇任】(4月1日付)  
 ◆波多野純教授(教育研究推進室)に昇任  
 ◆波多野純教授(教育研究推進室)に昇任  
 ◆波多野純教授(教育研究推進室)に昇任

### 学生生活を充実させるための目標をたてよう

学生自治会中央執行委員長 新入生歓迎の辞  
 機械工学科 4年 神田 大輔  
 (新潟県立新潟工業高等学校出身)

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんに伝えたいことは、さまざまな事に挑戦してほしいということです。大学とは、

### KMUTT 50周年記念式典に 理事長・学長一行が出席

50周年を迎えるタイのキングモンクット工科大学トンプリ校(KMUTT)の50周年記念式典に、大川理事長、柳澤学長の一行が出席した。

3月29日にKMUTTで開催された歓迎式典では、各大学代表者の祝辞、記念品の交換などで親睦を深めた。翌30日正午からチャック・シリントン王女を招き、国後に活躍している。

50周年記念式典が開催され、新棟の落成式、祝賀夕食会へと続いた。

本学とKMUTTは91年に学術交流協定を締結し、親密な交流を続けている。本年2月23日には同様のキヤッティコーモン学長が来学し、協定を更新した。また、多数の同僚教員が本学で博士の学位を取得し、帰国後に活躍している。

### 就職総合支援システムの紹介と活用のすすめ

就職支援課 課長 吉見健二

平成21年度において、文部科学省の補助金事業「学生支援推進プログラム」に申請した「技術を活かした就職支援」が採択され、平成21年12月から利用を開始した。このシステムは、

### キャンパス整備

平成21・22年度後援会特別事業として行われた駐輪場整備工事が完了した。場所は①学友門～東門(自転車約200台)②正門脇の植込込み部(自転車約120台)③博物館北側(自転車約120台+バイク約100台)。使用開始後は老朽化した既存の駐輪場の解体を行い、跡地に植栽を行う予定である。また工業技術博物館別棟として機械類の整備工場、時計工場展示スペースなどに使用されていたW4棟を改装し、1階に博物館分室、2階に新たに「生活環境デザイン学科」の製図室および研究室等を設置する工事も完了した。平成22年度から使用開始。

### 海外英語セミナー

本セミナーは、本学のカタリナ研究所(アルバータ州)で、春休み期間中に英語の教養科目(2単位)として実施される語学研修プログラムの一つです。異文化社会で凝縮した日常生活を実際に経験し、コミュニケーション・ツールとしての英語や異文化に関する理解を促し、国際化する社会で能力を発揮できる基礎力を養うのがこのプログラムの目的です。

### 海外英語セミナー

本セミナーは、本学のカタリナ研究所(アルバータ州)で、春休み期間中に英語の教養科目(2単位)として実施される語学研修プログラムの一つです。異文化社会で凝縮した日常生活を実際に経験し、コミュニケーション・ツールとしての英語や異文化に関する理解を促し、国際化する社会で能力を発揮できる基礎力を養うのがこのプログラムの目的です。